

調布市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています



こども版

令和3(2021)年度 ▶ 令和7(2025)年度

調布市 環境 基本計画



調布市

調布市の目指す将来像

未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布

— 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし —

調布市には、ゆるやかな斜面に緑がまとまって残っている国分寺崖線や、国分寺崖線にそって流れる野川、市域の南を流れる多摩川などがあります。これらの豊かな自然を大切にしながら、気持ちよく暮らせるよう、市では目指す将来像を決めました。

将来像を実現するために

将来像を実現するため、「調布市環境基本計画」をつくりました。環境を守るためには、皆さん一人一人の協力が必要です。このパンフレットには、調布市の環境の今、環境をよくするために市が取り組んでいくこと、皆さん自身ができることをまとめました。

コラム

持続可能な開発目標(SDGs)

環境問題をはじめ、世界にはたくさんの課題があります。

そこで、たくさんの国と協力して課題を解決するため、持続可能な開発目標(SDGs)を決めました。

SDGsとは、誰ひとり取り残されることなく、安定して地球で暮らし続けるための17の目標のことです。2015年に国連で決定され、2030年までに達成することとしています。

調布市環境基本計画を進めることで、17の目標のうち13の目標達成に協力することができます。そのうちの2つを紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【目標 12】

つくる責任 つかう責任

ごみが出ることを防いだり、リサイクルを進めます。捨てられる食料を減らすことで、循環型社会につなげます。



【目標 13】

気候変動から地球を守るために、 今すぐ行動を起こそう

地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らしつつ、熱中症や災害にそなえます。

調布市環境基本計画の5つの基本目標

しょうらいぞう じつげん

将来像を実現するため5つの基本目標を立て、具体的な取組を決めています。

基本目標 1 緑と水、自然環境について

ゆたかな緑と水や
多様な生物を育むまち



基本目標 2 まちのきれいさ、マナーについて

人と環境が調和する
快適で美しいまち



基本目標 5 環境学習や活動について

みんなの力で
より良い環境を目指すまち



基本目標 3 大気やそ音などの身近な生活環境について

安心して暮らせる
生活環境が確保されるまち



基本目標 4 地球温暖化、ごみについて

脱炭素で循環型の社会を
目指すまち



コラム

パリ協定

パリ協定とは、地球温暖化対策について定めた国際的な取り決めです。
2020年以降の温室効果ガスを減らすためのルールが定められています。

196の国と地域が目標達成に向けて取り組んでいます。日本も、省エネルギーや太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。



1 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち

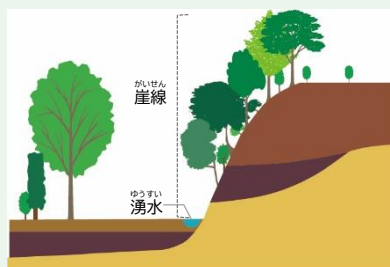
基本目標

緑と水

調布の今



調布市の里山の風景



崖線の下から湧き出る湧水

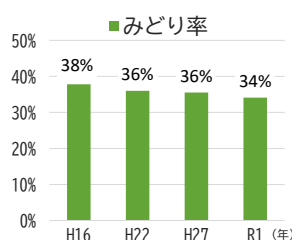
市の中北部に位置する深大寺・佐須地域の里山や国分寺崖線の緑は、調布市ならではの風景です。

里山とは、自然とまちの中間にある、人が育ててきた畑や水田、崖線の緑などの林が一体となった場所です。

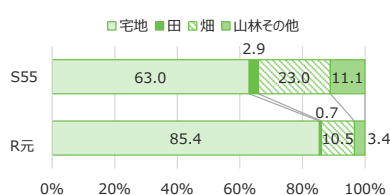
国分寺崖線とは、多摩川が台地をけずってできた崖です。この崖には多くの緑が残っています。さらに、崖下からは湧水(湧き水)が出ている所があります。人が手入れをして守ることで、たくさんの生きものや植物がすめる場所となっています。



考えてみよう



調布市のみどり率



調布市の土地の使い方の内訳

緑・水面・公園などの面積が市内全体に占める面積の割合を、「みどり率」といいます。

平成16年から令和元年までのみどり率を比べると、少しずつ低くなっていることがわかりました。

緑を減らさないために、どうしたらよいでしょうか。

生きもの

調布の今



生きもの調査で見つかった種類の数

平成23年度に市内にすむ生きものを調査しました。その結果、古くから調布市にすんでいる生きもの(在来種)がたくさん見つかりました。その中には「絶滅のおそれがある生きもの」もありました。

考えてみよう



【オイカワ】



【スミウキゴリ】

調布の在来種

生きもの調査では、海外からやってきて、環境に悪い影響をあたえる生きもの(外来種)がいることもわかりました。現在、在来種が外来種にすむ場所をうばわれることが問題になっています。

調布市の在来種を守るために何ができるでしょうか。



市が取り組んでいくこと

- 市民と協力して崖線の緑の手入れ(保全)をします。
- 市民と協力して河川の清掃活動を進めます。
- 深大寺・佐須地域の里山の風景を守り、環境学習などの場として活用します。
- 自然環境や生きものの調査をします。



崖線の緑の保全活動



河川の清掃活動



田んぼでの環境学習



植物の調査

やってみよう!

里山に
出かけてみよう



深大寺自然広場内のカニ山

崖線の緑沿いを
歩いてみよう



市内をとめる国分寺崖線

在来種や外来種に
ついて調べてみよう



【カワラサイコ】
【ハグロトンボ】

市内で見つけた在来種の例

河川の清掃活動に
参加してみよう



多摩川クリーン作戦
(春・秋)開催

自然観察会、
生きもの観察会に
参加してみよう



多摩川自然情報館の
いきものプール

特定外来生物(植物)を
取りのぞく活動に
参加してみよう



多摩川での特定外来生物
(植物)の駆除活動

基本目標 2 人と環境が調和する快適で美しいまち

調布の今 都市景観



調布市に暮らす人、来る人が気持ちよくすごすことができるよう、まちの中に公園をつくっています。



国指定史跡深大寺城跡

市内には231か所の公園があります。また、調布市の歴史を伝える下布田遺跡や深大寺城跡があります。歴史的な価値が高く、国史跡に指定されています。

まちをきれいにするために、歩きたばこやごみのポイ捨てをしないなどのルールを決め、市民の皆さんと一緒にまちなかの清掃活動を行っています。

考えてみよう



片づけられていないペットのフンやごみのポイ捨てに困っている人がいます。

どうしたらルールが守られるでしょうか。

基本目標 3 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち

調布の今 身近な環境



大気、水質、騒音には、環境基準という、人の健康と生活環境を守るための基準が決められています。調布市でも、毎年、環境基準を守ることができるか、大気や水などの調査をしています。おおむね達成していますが、安心して暮らせる生活環境を守るため、引き続き監視を行います。

考えてみよう



洗たくやトイレに使われた水を生活排水といいます。排水口に直接ごみを流したり、洗剤を流しすぎると、きれいな水にもどすのは大変です。きれいな水を守るために、生活の中でどんな工夫ができるでしょうか。

市が取り組んでいくこと

- 市内の公園などに花を育て地域の緑を豊かにする「花いっぱい運動」をよびかけます。
- ごみのポイ捨て防止やたばこのマナーについてよびかけます。
- 地域の人と一緒に駅前のごみ拾いを続けます。
- 大気・水質・騒音・振動の状況を調査し、データの公表を続けます。
- 一人一人ができる生活排水対策をよびかけます。
- 大気をできるだけよごさないよう、電気や水素を燃料にして走る車を使っています。



花いっぱい運動



調布駅前クリーン作戦



大気汚染を測定する装置



水質の調査

やってみよう！

花だんや公園の緑を
大切にしよう



ごみのポイ捨ては
やめよう



自転車は決められた
場所に停めよう



まちのごみ拾いや
花植えに参加してみよう



油を排水口に捨てない
ようにしよう



ペットの飼い方や
まちのルールを守ろう



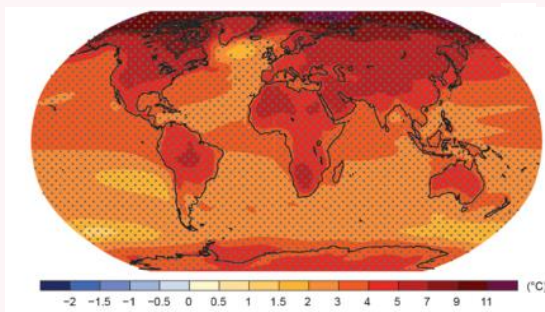
4 脱炭素で循環型の社会を目指すまち

基本目標

地球温暖化



地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素の排出量が地球全体で増えています。そのため、大型の台風が来たり、夏に35度以上の気温の日が続くといった影響が出ています。

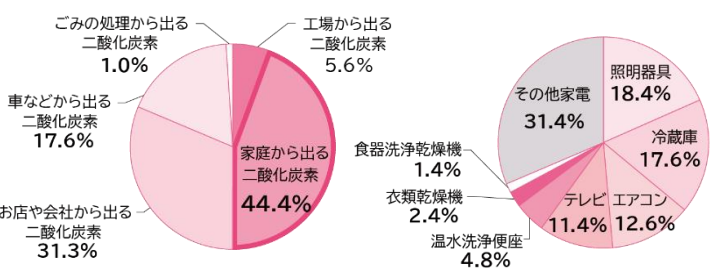


温暖化が進まないように、調布市では、国や東京都と協力して対策を進めています。

また、温暖化が進んでも、少しでもすずしく過ごせるようなまちづくりを進めたり、大規模な災害にそなえたりしています。

出典：気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/pl1.html)

考えてみよう



調布市の場所別の二酸化炭素排出量 家電製品別の電気使用量

出典：「家庭の省エネ対策ハンドブック 2020」

調布市は「家庭から出る二酸化炭素」が多くなっています。エネルギーを使うほど二酸化炭素の量は多くなります。グラフを見ると、照明や冷蔵庫は電気をたくさん使うことがわかりました。

二酸化炭素の量を減らすためにどんな工夫ができるでしょうか。

調布の今

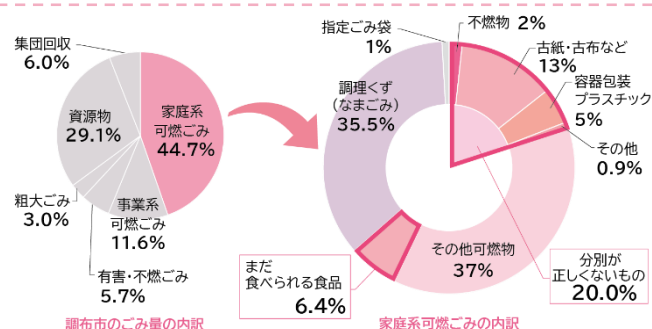
ごみ



調布市のごみを減らす取組は、全国でも高いレベルにあります。今後も取組を続け、「循環型社会」の実現を目指します。循環型社会とは、なるべくごみを出さないようにしながら、リサイクルを進め、資源を長く使い続ける社会のことです。

最近では、まだ食べられる食品が捨てられる「食品ロス」や、プラスチックごみが海までたどり着いてしまう「海洋プラスチックごみ」が大きな問題となっており、対策が必要です。

考えてみよう



調布市の家庭から出るごみには、食べることができる食品(食品ロス)や、分別されていないごみもふくまれています。

どうすれば、食品ロスが減り、正しい分別が進むでしょうか。

出典：令和2年度市報ちょうふ9月20日号

市が取り組んでいくこと

- 住宅や会社で省エネルギーの取組が進むようによびかけます。
- 太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用を推進します。
- 二酸化炭素を減らしながら移動できる公共交通、自転車などの利用をよびかけます。
- プラスチックごみや食品ロスを減らすためのよびかけを続けます。



市の施設にある太陽光パネル



シェアサイクル※

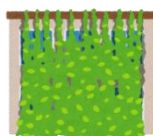


食べられる食品を持ちよる
フード・ドライブの活用

※ 登録した人がいつでもどこでも借りることができる自転車のサービス

やってみよう！

緑のカーテンをつくって
夏の日差しを
ふせよう



地球温暖化やエネルギー
について学ぼう



ソーラーランタン工作

家庭や学校で
省エネを進めよう



ごみになるものを
もらわないように
しよう



ごみ捨ての
ルールを守ろう



生ごみ、食品ロス
が出ない工夫を
しよう



食材の
チェックリストをつくろう

フリーマーケット
を使ってみよう



コラム

食品ロス

日本の食品ロスは年間約 612 万 t といわれています。
これは毎日 1 人当たりお茶碗一杯分のご飯を捨てている
ことになります。食品ロスの多くは家庭から出るため、とて
も身近な問題です。

食品ロスはこんな所で出ます。

むきすぎ 食べ残し 期限切れ



5 みんなの力でより良い環境を目指すまち

調布の今

環境学習



環境講座(水車づくり)の様子

調布市では、みんなに調布の環境や地球温暖化の情報等が伝わるよう、市報、市ホームページなどで情報を発信しています。

また、調布市の環境のよさを伝え、市民の環境を大切にする気持ちが高まるような活動をしています。

考えてみよう



ボードゲーム「地球を救う作戦会議」



市では、生きもの観察やエネルギーについて考える講座を開いています。

年齢や学年に応じた活動がありますが、皆さんはどんな活動をしてみたいですか。

市が取り組んでいくこと

- 小中学生向けのイベントや、環境学習の場をつくれます。
- 環境を考えた暮らし方を伝えるためのイベントやキャンペーンを行います。
- これから環境活動に取り組む人を育成します。



環境講座



深大寺・佐須地域での環境学習



多摩川自然情報館の夏まつり

コラム

脱炭素(ゼロカーボン)

日本では、2050年までに「二酸化炭素を実質ゼロにすること」を目指しています。そこで、できるだけ二酸化炭素を減らしつつ、出た二酸化炭素は吸収する仕組みをつくれます。この仕組みが達成された社会を「脱炭素社会」と言います。

調布市も脱炭素社会の実現を目指すと宣言しています。



やってみよう！

市報や市ホームページ
を見てみよう



理科や社会の授業を
通して環境について学ぼう

地球温暖化
国際会議



地域の環境活動を
調べてみよう



環境フェアや
多摩川自然情報館に
出かけてみよう



多摩川自然情報館の夏まつり

こどもエコクラブや環境講座に
参加してみよう



調布こどもエコクラブの様子

コラム

環境イベント

多摩川・野川クリーン作戦
多摩川・野川沿いの清掃を
多くの参加者と一緒に行って
います。



守ろう多摩川のいきもの
アレチウリなどの特定外来生物
(植物)から多摩川の生きもの
を守る活動をしています。



アレチウリ

環境フェア

毎年6月に開催しています。
環境についての展示や体験
があります。



調布こどもエコクラブ

自然体験を通じて環境を学
ぶクラブです。4月に会員を
募集しています。



多摩川自然情報館まつり

夏と秋に多摩川自然情報館ま
つりを行っています。他にも室
内で「月替わりプログラム」、野
外で「月別イベント」なども実施
しています。



問い合わせ先

調布市環境部 環境政策課
電話 042-481-7086

調布市内の環境のことを学べる施設や場所

調布市内には、環境について学ぶことができる施設や場所があります。各施設のホームページなどでくわしい情報をチェックしてから、遊びに行ってみよう！

生きものなどの環境について知る

多摩川自然情報館

多摩川を中心とした市の環境を紹介する環境学習施設です。



所在地：染地 3-8-26 2階
電話：平日 042-481-7086
(環境政策課)
開館時間：午前 9 時 ～ 午後 5 時
休館日：12 月 29 日～1 月 3 日



市内の植物について知る

深大寺自然広場内野草園

野草園には約 300 種 1 万本以上の野草があり、ムラサキなどのめずらしい花もあります。



所在地：深大寺南町 1-25
電話：042-498-1464
開館時間：午前 10 時 ～ 午後 4 時
(3 月 1 日から 10 月 31 日まで)



※休園日は季節で変わります。HP を確認してください。

ごみについて知る

ふじみ衛生組合「クリーンプラザふじみ」

ごみ処理の様子を見学することができます。



所在地：深大寺東町 7-50-30
電話：042-482-5497
開館時間：午前 9 時 30 分 ～ 午前 11 時 30 分
午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時



※土日祝日は見学できません

東京の植物の多様性について知る

神代植物公園 植物多様性センター

東京の絶めつのおそれがある植物の保護・増殖、環境学習プログラム等を行っています。



所在地：深大寺北町 1-4-6
電話：042-485-1210
開館時間：午前 9 時 30 分 ～ 午後 5 時 00 分



休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

もっと知りたい！

野川や崖線のことをまとめた地図を紹介します。

野川マップ

野川が流れる自治体が協力して野川全体のマップをつくりました。野川の生きものも紹介しています。



もりのちず

崖線の周辺の地図や崖線で活動する団体などを紹介しています。



配布場所：環境政策課(市役所 8 階)

市ホームページからもダウンロードできます➡



野川マップ



もりのちず